

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コーディキッズ			
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日		～	令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50名	(回答者数)	41名
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日		～	令和7年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの居場所づくりとして、安心して利用者さんが通われている。	・子どもたちが安心して過ごせるよう、親しみやすい指導員の関わり。 ・個性を尊重し、一人ひとりに寄り添った支援。 ・「楽しい」「また来たい」と思えるような雰囲気づくり。 ・成績や勝負ごとに重きを置かず、成功や失敗に関わらず努力を評価する。	・保護者や地域とのつながりをより強化する。 （保護者さんからのフィードバックを取り入れて、子どもたちにとってより適切なサービスを提供する。） ・指導員向けの定期的な研修や勉強会を開催し、スキルを向上させる。
2	運動療育を通して、子どもたちが楽しみながら学ぶことができ、自然と社会性を身につけられる環境を提供している。	・スモールステップから子どもたちが「できた!」と感じられる成功体験を積み重ねる。 ・子ども一人ひとりの特性や成長段階に応じたアプローチを行う。 ・他者との対話や意見交換を促すことで、表現力や対話スキルを育む。	・活動後に「楽しかったこと」、「できたこと」を振り返る時間を設け、自己理解を深める。 ・地域のイベントや施設訪問を取り入れ、様々な人と関わる機会を提供する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な知識と技術をもつスタッフが限られてくる。	・専門的な知識や技術を有する人材は限られており、スタッフを採用するのが難しい状況もある。 ・スタッフ間で専門性の差が広がっている。	・入社時の基礎研修に加え、専門研修のカリキュラムを定期的実施する。 ・スタッフの研修効果や業務遂行状況を定期的に評価し、フィードフォワードを行う仕組みを作る。
2			